

# うしお会 会報

平成 24 年 6 月発行 追浜高校同窓会



【写真】追浜高校校舎

追浜高等学校31期生

2001年 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業

2007年 同大学院文化財保存学博士課程修了

以降、十和田市現代美術館、北海道立近代美術館、横須賀美術館などの企画展に参加。

日本橋高島屋（2008年）、メグミオギタギャラリー（2009年、2011年、2012年\*予定）などで個展。

また、小説（小川洋子著「人質の朗読会」中央公論新書、今村夏子著「こちらあみ子」筑摩書房）やエッセイ（山折哲雄著「絆 いま、生きるあなたへ」ポプラ社）など出版物の装丁としての採用多数。2012年作品集出版予定（求龍堂）。

ウェブサイト <http://yoshimasa-tsuchiya.net/>

## 同窓生 活躍人!

第三回目の「同窓生活躍人」には、新進気鋭の彫刻家、土屋 仁応（つちや よしまさ）さんにご登場いただきます。土屋さんの作品は、本の装丁や、雑誌でも取り上げられる注目の若手です。まずは、プロフィールをご紹介します。

## 土屋 仁応氏



写真：竹之内 祐幸

高校時代をいまになってふりかえると、当時の追高はのびのびした校風だったと思います。個性的な先生方や友人達との出会いに感謝しています。入学当時、高1ではクラスも楽しく、放課後には美術部の活動と称して好き勝手に絵を描き、高校生活を謳歌していました。高2の頃は、美術科の先生に相談して大船の美大受験予備校に通うようになり、彫刻コースの課題に手応えを感じて進路志望を固めていきました。一方で高校を自分の居場所ではないように感じ、ふてくされていた時期もありました。しかし高3の秋の体育祭では応援演技の装飾係（通称「デコ団」）で学級内に受け入れられたよう

な感覚があり、間際になって卒業が近づくのが寂しく感じられたものです。大学進学後、彫刻科で石彫・塑像・金属加工などの実習のなかで木彫と出会いました。木の繊維を刃物で断ち切って面ができる感触が快感で、叶うなら一日中これをしていたいと思いました。具象的な木彫をやっていくうえで自分の核になるような学びを得たいと思い、仏像の修理や制作の文化財保存専攻の大学院に進学しました。高校時代には思いもよらなかったことですが、彫刻を基点にして知りたいと思うことが『芋づる式』に出てきて、当時は興味をもてず勉強をする意味もわからなかった歴史や数学や英語などの教科も改めて学びなおしたいと思ったりしています。それらは「やりのこした宿題」として、この先じっくり取り掛かれればと思います。制作をしているとき、ふと、この先経験を重ねると、失敗が怖くなったり、言い訳が上手になったりするのかと思うことがあります。高校生だった頃

な感覚があり、間際になって卒業が近づくのが寂しく感じられたものです。大学進学後、彫刻科で石彫・塑像・金属加工などの実習のなかで木彫と出会いました。木の繊維を刃物で断ち切って面ができる感触が快感で、叶うなら一日中これをしていたいと思いました。具象的な木彫をやっていくうえで自分の核になるような学びを得たいと思い、仏像の修理や制作の文化財保存専攻の大学院に進学しました。高校時代には思いもよらなかったことですが、彫刻を基点にして知りたいと思うことが『芋づる式』に出てきて、当時は興味をもてず勉強をする意味もわからなかった歴史や数学や英語などの教科も改めて学びなおしたいと思ったりしています。それらは「やりのこした宿題」として、この先じっくり取り掛かれればと思います。制作をしているとき、ふと、この先経験を重ねると、失敗が怖くなったり、言い訳が上手になったりするのかと思うことがあります。高校生だった頃

の私は、なにも知らなくても、なにも根拠がなくても、直感と確信に満ちていました。頭の片隅では今もその生意気な高校生は健在で、ときに突飛な計画を言い出し、少々大人になった現在の私の言い訳を叱咤し、励ましてくれます。そういう気持ちは忘れずに、これからも制作を続けていきたいと思えます。



右：「麒麟」樟・水晶・彩色 2010 年制作

左：装丁「人質の朗読会」小川洋子  
中央公論新社 2011 年



## ◆同窓生活躍人◆

### 卒業生のお店

追浜高校卒業生も、歴史を重ねて四十七期生！一万六千人を超える卒業生が全国各地、さまざまな分野で活躍しています。

今回は卒業生のご夫婦が営んでいる奥伊豆の隠れ宿と、横須賀大滝町で営んでいるアットホームな飲食店をご紹介します。

#### 【桜田温泉 山芳園】

西伊豆の中心地松崎から下田方面に左折し約 2 km、田園風景が広がり、春にはレンゲがピンクの花を咲かせ、晴れた夜空には満天の星が瞬く。思わず大きく深呼吸をしてしまふほど喧騒とは無縁の田舎風情のところに「桜田温泉山芳園」があります。

大きな看板が無ければ見落としてしまふひっそりとしたなまこ壁が美しい一軒宿です。

そこを経営されているのは、5 期生の吉田新司さん、9 期生の寿美子さん（旧姓鈴木）という追浜高校の卒業生のご夫妻です。

開業は昭和五十五年九月、今年で三十二年。そもそも、なんで追浜高校



出身のご夫妻が奥伊豆でと誰しもが思います。

お二人の出会いは、農業大学を卒業しアメリカで二年間農業研修をした新司さんが、同じ 5 期生の友人と昭和五十二年六月に帰国し自宅に着いた時、偶然妹さんの和裁仲間として自宅の縁側に寿美子さんが座っていたのが最初。そして交際が始まり、翌五十三年に結婚されました。

山芳園の誕生は、新司さんの父親が当地にミカン山を購入し栽培を始めたのがきっかけだそうです。

みかん山を引き継ぐため新司さんが三浦市から移り住んだのが昭和五十二年のこと。とても採算が合わずすでに温泉を掘り当てていたこともあり、同じ三浦市から嫁いできた寿美子さんとともに住居を兼ねて客室五室の「山芳園」を開業しました。

現在、客室は離れも含め十室に抑え

た余裕ある設計。どの部屋も意匠が異なり、蔵造の離れは、バリアフリー。ペット同伴可の部屋もあります。自慢のお風呂は、唐傘天井総檜造の開放的な内湯、一度に五十人は入れる泳げるほど広い傘天井の大露天風呂（混浴、女性専用タイム有）、女性専用の室岩風呂、貸切の家族風呂があり、好みの湯加減でと熱め、温めの湯が用意されています。

「何もわからないまま始めたけれど、お客様から教わりながらやってきました」と女将の寿美子さん。なによりももてなしの心を最優先にやってきました。

裏山で自噴する源泉を加水せず、空気に触れることなく湯船にそそぐという主人考案の給湯方式「源泉脈かけ流し」のお風呂は、美人の湯との誉れ高く、高血圧や動脈硬化、リウマチ、脳卒中飲めば肝臓病、糖尿、痛風などに効くと言われ、自然湧出に近い温泉



【DATA】

- 住所 静岡県賀茂郡松崎町桜 569-1
- 電話 0558-42-2561
- FAX 0558-42-3338
- アクセス  
伊豆急下田駅より堂ヶ島行バス  
約46分、「桜田」下車3分
- 車 東名高速沼津インターより  
国道136号経由約74km
- HP <http://www.sanpouen.co.jp/>  
詳細は、ぜひホームページで!

の効能を享受できません。「頭が痛くてもお湯に入ると治ってしまうし、肌がツルツルになるんですよ」と女将。

食事は、その時一番おいしい新鮮な素材が食卓を彩ります。アワビの踊り焼き、伊勢海老の活き造りといった自信のプランヤ、海の幸から宿専用の里山で採れた山の幸まで、一品ごとに舌も心も大満足 of 料理が並びます。

自由がなく同窓会なども出席できませんが、飛び込みで体育の伊藤(旧姓吉田)多江先生が見えてびっくりしたり、「近くを通ったから」と担任だった三好先生が玄関に現れた時などは思わず「どちら様ですか?」なんて失礼もあつたり...この商売でしか味わえない偶然などを楽しませていただいておりますとは、女将の寿美子さんの弁。

以上、楽しみ満載の奥伊豆山芳園。ぜひうしお会会員の皆さんに泊まって欲しいお勧めの宿です。



【ZAKA】

横須賀中央駅から、ベース方面へ歩き、三笠ビルを抜けた先の角を左折。花屋さんの角を左に曲がり鳥居をくぐると、オレンジ色のビル。この二階が居酒屋(パーティールーム)「ZAKA」です。(見つけにくい時は是非お電話を!)

経営者のあやさん(春日恵玲さん)は追浜高校4期生。高校時代は陸上部長距離で活躍、校内のマラソン大会で2年連続優勝したのは、懐かしい思い出とか。法政大学経営学部に進みますが、この頃のあやさんのアイドル級?の美しさを象徴するエピソードが、エチケットライオンのコマーションでオンエアされたこと。町ゆく人が振り返るかわいらしさ! 大学三年、22歳の時にカフェテラス

ザカ(坐花)を開店。9年後、パーティールームZAKAをオープンしました。完全貸し切りが珍しく、市内の小学校・中学校の先生方や、市役所の人たちが宴会・2次会で大勢利用してくれたそうです。

その後、現在の場所に移り、6年目を迎えています。お店の特徴はとにかくアットホームなこと!常連が安心して足を運べる店で、あやさんの笑顔にみな、癒されています。学校関係や市役所関係の利用が多いお店ですが、追高卒業生が多く利用していることも特徴です。宴会の2次会などで、お酒とカラオケを楽しむ利用も多く、人数が揃えば予約をして貸し切りで安心して楽しめる店!というところで、幹事は安心、会費もあやさんが相談に乗ってくれます。

2次会でも活用できるお店ですが、もう一つの魅力は料理です。人数が折り合えば、1次会からの利用がベスト!和洋中を取り交ぜた料理は、それぞれベテランの料理人が居て宴会料理としては絶品です!

パーティールームからの貸し切り宴会の伝統が息づき、おいしい料理を食べ、楽しく飲み、そしてカラオケタイム...大満足請け合いです。

時代の波を乗り越えて来たあやさんですが、還暦を迎えたとは思えない若々しさを保っています。

その秘訣は、お客さんに楽しい一時を提供して、お客さんから「ごちそうさま!おいしかったよ!楽しかったよ!」と声をかけてもらえること。この言葉に励まされて、40年も店を続けてこられたそうです。

追高が大好きなあやさん。そして追高を愛する卒業生が集まる店。(もちろん追高卒業生以外のリピーターも大勢いますが...)

老年、壮年の卒業生だけでなく、若い卒業生も楽しめるお店です。是非、予約を出かけて下さい。リピーターになること請け合います。

住所 横須賀市大滝町1-30  
定休日 日曜日(要相談)  
営業時間 18時~24時(要相談)  
電話 046-822-0072



## 生徒会館リニューアルに関するお願い

うしお会会員の皆様には日頃より本校の教育活動に対し、ご理解、ご支援をいただき感謝申し上げます。

さて本校は本年創立 50 周年を迎えます。昨年度に 50 周年実行委員会を立ち上げ、記念式典の日程や記念誌の発行について検討を進めておりますが、今回の 50 周年記念事業において長年の懸案であった生徒会館の改修を是非とも実現したいと考えております。

生徒会館は昭和 42 年に当時の PTA の寄付により建設され、本校の教育活動を行うに当たり多大な利用価値のある施設として活用されてきました。しかしながら長い年月が経ち、老朽化が目立ち、使用もままならない状態が続いています。そこで今回の創立 50 周年を良い機会と捉え、記念事業の一環として生徒会館を改修し、生徒の教育活動の充実を図りたいと考えています。

生徒会館を改修することによる充実した教育活動として考えられることは、日々の部活動や合宿などによる部活動の活性化、補・講習や勉強合宿などによる学力向上、集会や学校行事での利用など、教育効果は非常に大きなものとなります。

改修に当たっての最大の課題は改修費用です。改修には約 2 千万円以上の金額が必要です。学校では周年事業の積み立てを行っていますが、積立金だけで改修するのは不可能です。そこでうしお会の役員の方にご承諾をいただき、うしお会会員の皆様に寄付のお願いをすることとなりました。趣旨をご理解の上、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。



校長 小西 憲一  
(6 期生)



## 卒業生の皆様へ ～うしお会からのお願い～

50 周年実行委員会では記念事業として、小西校長の言葉にもあるように生徒会館のリニューアルを是非実現したいと思っています。

生徒会館の現状は、写真のように老朽化から雨漏り等の痛みが激しく、合宿などはもちろんほとんど使用できません。元々、当時の P T A の寄付で建てられ、今は県の施設になっていますが、修繕費用は見込めません。

改修費は 2000 万円以上かかり、現在、学校の積み立て、うしお会、卒業生の保護者で構成する後援会、PTA の 50 周年積立金等でおよそ 1,500 万円は確保できましたが、まだまだ足りません。

うしお会の皆様の温かいご寄付をなにとぞお願いいたします。卒業生も利用できますしこれからの追高生の思い出づくりのためにもみんなの力で実現しましょう。

下記口座へ「期」と「お名前」をご記入の上、振り込みをお願いいたします。

寄付口座 湘南信用金庫追浜支店 普通預金 160745 「県立追浜高等学校同窓会」

※法人、または確定申告による寄附控除を希望される個人の方は、振込後、別紙 FAX 送信票に必要事項を記入し、追浜高校宛お送りください。注意事項をお読みください。

# 生徒会便り



追浜高校が五十周年という大きな節目を迎えるにあたり、生徒会執行部十名も生徒会活動がより充実したものになるよう日々努力しています。

昨年度は6月に体育祭が開催されました。執行部は体育祭実行委員会とタイアップし、事前の準備や当日の本部運営に携わりました。昨年度の執行部は一年生が多く、初めての仕事に戸惑う部分もありましたが、先輩方に支えていただきながら各行事を成功させる事が出来ました。

また、三月には校外活動として「かながわ元気な学校づくり全県生徒代表総会」に参加しました。その中で、他校の生徒と情報交換し、各校の取り組みを発表しました。

今年度は文化祭の年です。

文化祭をスムーズに進行させるために昨年度の1月から文化祭のテーマや文化祭全体の企画について話し合いました。4月からは追高祭実行委員会で、準備を進めています。執行部も、文化祭全体が盛り上がるよ

う生徒会企画を考えたりしています。さて、その文化祭では露店やお化け屋敷の企画が毎年出ますが、そのお化け屋敷で毎年使用されるのが生徒会館です。

この生徒会館は本来、部活動の合宿やHR合宿で使う施設と聞いていますが、現在は老朽化し、合宿等では使えません。生徒の中でも、「昔みたいに生徒会館で合宿したい!」という声も少なくありません。執行部としても、生徒会館が生き返るよう、改修工事を強く願っています。

私は二年生で、まだまだ分らないことも多いのですが、今までの先輩方が作り上げた伝統を受け継ぎながら、常に新しい事にもトライし続ける精神を大切にしていこうと思います。そして、生徒全員が「追高っで楽しい!」

と思えるような学校を目指したいと考えています。



生徒会長 志賀 瑛七

# 生徒会館

あれこれ

昭和四十二(一九六七)年一月十四日(土)体育館において部室棟、合宿所落成式典が盛大に催されました。

名称を公募の末、「追高生徒会館」と命名された鉄筋コンクリート二階建延床面積八百八十二㎡の立派な建物はPTAからの寄付を受けて完成いたしました。合宿所(四百五十㎡)は、全自動温水シャワー、トイレなどを完備し、一階は全面フローリング、二階は和室(五十七畳)、となっており、おもに男子生徒が宿泊していました。部室棟(二百七十㎡)は、十六室(一室十五㎡)の部室と全自動温水シャワー、トイレなどを完備した女子の宿泊施設(百八十二㎡内和室二十畳)が合わさった造りになっていました。

従来の教室や外部施設を用いての合宿の不便が解消されると同時に、クラスの親睦を深める、通称「クラス合宿」、文化祭での発表用施設や、日々の部活動などの場にも用いられ、追高生は益々活動的に学校生活を送ることができるようになっていきました。

昭和四十六(一九七一)年に県の施設となりますが、開設以降、建物の補修、改修が行われることは少なく、天井に穴が開き二階では雨漏りがあり、外壁も崩れ始め、窓は開閉ができないものもあり、宿泊することはできなくなっております。現在の使用状況は、部活動ではチアダンス部が一階フローリングでの活動を行うのみとなり、また、文化祭で「おげけ屋敷」として使用するくらいで、若い卒業生や生徒に、「以前はここで合宿していたのですよ。」と話すとき驚いた表情を見せるほどです。

本年、追浜高校が創立五十周年を迎えるにあたり、うしお会のご協力のもと、記念事業として生徒会館の改修を計画しています。屋根、天井、トイレなど、必要最低限の補修を行い、以前のように宿泊施設として使用することはもとより、部活動、補習など多目的施設として再び活用できるよう考えております。

是非とも、皆様のご協力で以前のよくな活動的な追浜高校を取り戻していきたいと思えます。一人でも多くのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

(創立50周年校内運営委員会)

## 追浜高校創立 50 周年記念行事のお知らせ

昭和 38 年に開校した追浜高校は、本年創立 50 周年を迎えることとなりました。

この節目の年に記念式典を実施するにあたり、うしお会会長が実行委員長となり、「創立 50 周年実行委員会」を立ち上げ、準備を進めています。

来る、11 月 10 日（土）に追浜高校創立 50 周年記念行事として、記念式典及び記念祝賀会を開催されます。卒業生であるうしお会も全面協力していますので、みなさん誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

### ● 記念式典

月 日	平成 24 年 11 月 10 日（土）	於	横須賀芸術劇場大ホール
受付	12:20～13:00		
第 1 部	13:00～13:40	式典	
第 2 部	14:00～14:30	生徒による追高 50 年の歩み	
	14:40～16:00	飯森範親氏（17 期）指揮によるアンサンブルコンサート	



司会（祝賀会共）FMブルー湘南パーソナリティー 石川和美さん（24 期）



### ● 記念祝賀会

場 所	メルキュールホテル横須賀 横須賀市本町 3-27 TEL 046-821-1111
祝賀会	受付 16:30～、17:00～19:00 頃まで（立食パーティー） ・挨拶、乾杯の後、スライドショー（学校の思い出など） ・卒業生によるパフォーマンス、楽しさ満載の内容です
	※ロビーで、校章マーク入りどら焼き、マグカップ、Tシャツなど販売予定 （売上は記念事業に寄付します）

● 50 周年記念誌 A4 版 160 頁（か-32 頁）、1 期から 47 期の思い出を写真と共に掲載しています（売価 1,500 円送料込み）

● 会 費 7,500 円（記念誌購入を含む）6,000 円（記念誌は含みません）  
会費はできるだけ事前に振込をお願いします。（当日も可）

口座番号 横浜銀行追浜支店（店番号 542）普通預金 6029742  
追浜高校創立 50 周年 実行委員長 進藤 研治

※記念誌のみ購入する方も、上記口座にお振り込みください。

### 出 欠

同封のハガキにて 10 月 12 日（金）までに出席のご連絡をお願いします。  
なお、今回はお子様連れでも参加できるようにホールの一角をお子様預かりスペースとして確保し、専門の保育士の方に見ていただきます。ご希望の方は、ハガキに預けるお子様の人数・年齢・性別を併せてご記入ください。

# 「第六回青春かながわ校歌祭」に初出場!



平成二十三年九月二十三日、オーブンしたばかりの山下町にある神奈川県芸術劇場のステージで新調した校章入りのブルーのポロシャツ姿のうしお会メンバー八十七人と現役音楽部十人の計九十七人が、心と声を一つにして、校歌・応援歌・逍遙歌を、指揮石野雅樹さん(四期)、応援団長小林政義さん(三期)のもと声高らかに歌い上げました。



県立高校二十六校が参加するなか、初出場のうしお会。会場のみなさんの温かい大きな拍手、そして私たち一人ひとりの達成感とその喜び・感動、うしお会が世代を超え、さらに大きく団結した瞬間でした。

校歌祭参加の目的は、①再会を喜び、青春を思い出しみんなで心と声を合わせて歌い楽しいひと時を過ごす。②母校の校歌・応援歌・逍遙歌を歌うことによってそれらの伝承と母校の発展を願う。③在校生との交流を図る。④会員相互の親睦を図る。：十二分にその目的を果たすことが出来ました。

今回初めてのことで「追浜高校卒業生大集合!」のチラシが、私たちが配布できる範囲、また同窓会があると聞けばそこで配っていたり追浜高校ホームページにも載せていただいたりしましたが、全うしお会会員のみなさまにお伝えできなかったことを深くお詫びいたします。

今年は、十一月二十五日(日)神奈川県芸術劇場で「第七回青春かながわ校歌祭」が開催されます。追浜高校の五十周年を祝い、更なる母校の発展を願いながら、みなさんぜひ一緒にステージに立ってください。練習場所は母校音楽室で回数は五回程度の予定です。同期の仲間や先輩、後輩を誘って

ぜひご参加ください。先生方もぜひ一緒に歌ってください。今回は寺尾弘先生も一緒にステージに立って下さり恩師と肩を並べて歌える喜びを味わうことができました。たくさんの方々にご協力していただいた校歌祭でした。

うしお会校歌祭実行委員

秋元 昌子(三期)  
目黒 節子(三期)



## 音楽室に新しいピアノを!

チャリティージャズコンサート開催

昨年、校歌祭に出演のために音楽室で、練習を重ねたおり、参加者の方からピアノの音がかなり悪い、との指摘を受けました。

学校でも何年も前からピアノ購入を希望していたのですが、諸般の事情で実現できていません。

そこで、うしお会四十五周年のパーティで演奏していただいた9期生の深澤芳美さんを中心に「新しいピアノを寄贈したい」という声が上がリ、寄付集めの一環として、深澤さん率いる「キャロライナシャウト」によるチャリティーコンサートも、6月2日に追浜コミュニティセンターで開催しました。

OBを始め、追浜町内、隣接の町内の方も来館され有意義な演奏会となりました。必要経費を引いた会費全額がピアノ購入費用となりますので、他に寄付いただいたお金とあわせ、次回会報で集まった金額をお知らせします。

最後に、今回協力して下さったOB、小林楽器、西ピアノ、ヤジマレコード、追浜こみゅに亭カフェの皆様ありがとうございました。

うしお会ピアノプロジェクト  
実行委員会

## 追浜高校創立 50 周年によせて

湘南信用金庫 理事長  
石渡 卓 (7 期生)



追浜高校創立 50 周年おめでとうございます。

私が就職しました昭和 51 年は、昨今の就職難と同様にオイルショック後の大変な就職難の時代でありました。地元で働きたいという思いから、信用金庫に入庫し、渉外係としてバイクで活動することから始まり、営業店で融資を主に担当し、お客様と接しながら成長して来ました。振り返れば、追高の校歌にも歌われていますように「独立自主の意気たくましく」の意気を忘れず邁進する気持ちが、私を成長させてくれたと感じております。

明治憲法起草の地である夏島を控え、鷹取川と金沢八景の海に囲まれた素晴らしい環境のなかで学び、現在多くの同窓生が、地域社会の中核となり活躍していることと思います。

我が母校が、これからも良き伝統と歴史を刻みながら、地域社会に貢献出来る優秀な人材を育てるとともに、益々発展しますよう心より願っております。

## うしお会会報発行によせて

会長 進藤 研治 (2 期生)

うしお会会員の皆様にはお元気でご活躍のことと思います。

今年は、3 月に 47 期生が卒業し 4 月に 50 期生が入学しました。追浜高校は学校創立 50 周年を迎えたこととなります。

追浜高校では、2 年ほど前から「創立 50 周年実行委員会」を立ち上げ、私もうしお会会長として加わって検討をかさねて別紙にあるような諸行事を行うことになりました。

式典 2 部では、17 期生の指揮者、飯森範親さんの指揮によるコンサートがありますし、全体の総合同司会は 24 期生、FM ブルー湘南パーソナリティーの石川和美さん、また祝賀会では、卒業生による演奏、歌なども計画しています。会員多数の参加をお待ちしております。また、生徒会館リニューアルについては今後追浜高校で学ぶ生徒たちのため、是非実現したいと思っております。卒業生も利用できるようなと思います。会員の皆様の強い後押しをお願いいたします。

## 同窓会のホームページ開設しました！

追浜高校うしお会の最新情報を更新中！ ぜひ、ご覧ください！

[http:// 追浜高校うしお会 .jp/](http://追浜高校うしお会.jp/)



### ■ 活動費援助のお願い

会報発行等の活動費の援助をしていただける方は、下記の口座に「期」と「お名前」をご記入の上、お振込みいただくと幸いです。

口座番号 湘南信用金庫追浜支店 普通預金 0119610 県立追浜高等学校同窓会

(振込み手数料は有料となりますが、湘南信用金庫よりの振込みは、他金融機関より振込み手数料がお安くなります。)

校内幹事 青木、池畑



神奈川県立追浜高校 同窓会事務局

〒 237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 13 FAX : 046-865-9891

# 生徒会館改修事業 寄附申込：法人・確定申告希望の方用

## FAX 送信票

FAX：046(865)9891

神奈川県立追浜高等学校 創立 50 周年実行委員会 御中

創立 50 周年記念事業に寄附いたします。

法人名 代表者役職・氏名		法人所在地
		〒
ご寄附者名		領収書送付先
期		〒
振込依頼人名(かた)	振込日	寄附金額
		□□, □□□, 〇〇〇 円

### 寄附に関する注意事項

- 生徒会館の改修工事は、まなびや基金を通じて、神奈川県が実施します。
- 法人、または確定申告による寄附控除を希望される個人の方からのご寄附は、以下の手順でお願いします。(誠に勝手ながらこの手順によるご寄附金額は1万円以上からとさせていただきます)

1. 記念事業預金口座(会報4ページをご覧ください)へ入金をお願いします。  
振込みの確認ができるように、依頼人名と振込み日をお控えください。
2. 必要事項を記入の上、このFAX送信票でお申し込みください。  
宛先 FAX番号 046(865)9891(追浜高校)
3. 神奈川県への納付は、同窓会がまとめて行います。  
1ヶ月ごとに順次まとめて納付しますので、時間がかかります。ご了承ください。
4. 神奈川県からの領収書を送付します。再発行はされません。  
損金算入、または税控除に必要ですので、大切にご保管ください。
5. 詳しくは、「神奈川県まなびや基金のホームページ」をご覧ください。

URL <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6088/>

問い合わせ先  
神奈川県立追浜高等学校  
担当：相川 池畑  
TEL 046(865)4175

# 追浜高校卒業生大集合！

創立 50 周年をみんなで祝おう みんなで歌おう！

## 第 7 回 青春かながわ校歌祭

平成 24 年 11 月 25 日（日曜日）



神奈川芸術劇場

県立高校 27 校が参加予定

昨年度、“第 6 回青春かながわ校歌祭”に、追浜高校うしお会が初出場しました。当日は世代を超え 80 人余りのうしお会メンバーと現役合唱部とが心をつなげて声高らかに校歌、応援歌、逍遙歌を歌い、会場からたくさんの拍手をいただくことができました。本年は追浜高校創立 50 周年の記念すべき年です。この栄えある年に前回にも増してたくさんの卒業生が 50 周年を祝い“第 7 回青春かながわ校歌祭”に参加していただけますことを切に願っています。身近にいる追浜高校卒業生に声をかけてください。みなさんの力できっと素敵なステージになることでしょう。

〔目的〕・ 50 周年を祝い、会員相互の親睦を図る。

- ・ 再会を喜び合い、みんなで心と声を合わせて歌い楽しいひと時を過ごす。
- ・ 母校の校歌・応援歌・逍遙歌を歌うことによってそれらの伝承と母校の発展を願う。
- ・ 在校生との交流を図る。（今回も現役合唱部と一緒に参加して下さる予定）

〔日程〕

	日 時	場 所	内 容
1 回目	9 月 15 日（土）PM2 時～4 時	追浜高校音楽室	顔合わせ・合唱練習・名簿作成
2 回目	9 月 29 日（土）PM2 時～4 時	追浜高校音楽室	合唱練習
3 回目	10 月 20 日（土）PM2 時～4 時	追浜高校音楽室	合唱練習・在校生と合同練習
4 回目	11 月 3 日（土）PM2 時～4 時	追浜高校音楽室	リハーサル
本 番	11 月 25 日（日）午後の予定	神奈川芸術劇場	第 7 回青春かながわ校歌祭

☆ 11 月 10 日（土）追浜高校創立 50 周年祝賀会（PM5 時～7 時 メルキュールホテル横須賀）でも演奏を予定しています。万障お繰り合わせの上ご参加いただけるとありがたいです。

うしお会会長 進藤研治（2 期）

追浜高校校長 小西憲一（6 期）

追浜高校音楽科教諭 青木由美子（10 期）

校歌祭実行委員 秋元昌子・目黒節子（3 期）

（問い合わせ追浜高校 046-865-8490 青木）

参加申込書

第 7 回校歌祭に参加します。

期	名 前	住 所	電話番号等
		〒	

第 1 回目の練習日に記入してお持ち下さい。

昨年度参加して下さった方は、お配りしてある黒の楽譜ファイルをお持ち下さい。